

## 従業員とともに

### グローバル憲章の共有

#### すべての活動の礎に—「ブラザーグループ グローバル憲章」の浸透

##### 全従業員で共有するために積極的な浸透活動を展開

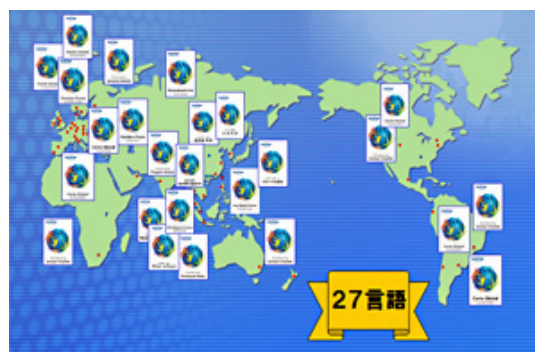
「ブラザーグループ グローバル憲章」(以下、グローバル憲章)は、グループ各社とグループ従業員の日々の意思決定と実行に関する基本方針と行動規範を定めたものです。グループ全従業員の活動の礎として共有され、日々の行動に表れている状態を目指し、継続的かつグローバルな浸透活動に取り組んでいます。

グローバル憲章を全従業員で共有していく環境づくりとして、携帯用のポケット版グローバル憲章(27言語)とポスターを各拠点に配布しています。また、イントラネットを活用して、内容の説明や各組織の活動計画、具体的な活動事例、経営層や管理職層のコミットメント(約束)を共有するとともに、自らの「行動」を具体的に考えることができるように、「対話」の機会をつくっています。

2016年3月に開催された経営層によるグローバル憲章共有会議では、活性化している経営層と従業員の直接対話(2015年度:269回)や、社長自らが複数回の講義に立つ「テリー's チャレンジ塾」を振り返り、2015年度の実績を確認しました。

併せて、グループの中期戦略CS B2018で示した「人財の変革」の推進と、その基盤のグローバル憲章浸透によって表れる従業員一人ひとりの行動や成長の後押しのために、

- ・変革が起きやすい企業風土づくりをどう実現していくか
- ・トップとしてどのような発言や行動で、効果的なコミュニケーションを図っていくかを、社長をはじめとする全執行役員が議論しました。



27言語に翻訳し、全世界で共有



社長と従業員が語り合う場(グローバル)

## 従業員とともに

### グローバル憲章の共有

#### すべての活動の礎に―「ブラザーグループ グローバル憲章」の浸透

##### 全従業員で共有するために積極的な浸透活動を展開

グローバル憲章浸透活動を推進するために重要な役割を果たしているのは、各組織の「グローバル憲章共有リーダー」の存在です。世界で約560名の共有リーダーは、各拠点・各組織の実情に合った計画を立て、社内研修や浸透活動の事例報告会などを行い、組織活性化を進めています。

例えば中国では、製造、販売、開発の7拠点の共有リーダーが一堂に集まる「中国横串共有リーダー会」を、2014年6月から定期的に開催しています。「チャレンジ風土の醸成」に向けた計画の立案・実行・改善を自律的に進め、2015年12月には「チャレンジ事例」の発表会を開催しました。

ブラザー インダストリーズ サイゴンLtd.では、事業の成長で急激に増加した従業員に向け、グローバル憲章を具体的な日常の行動につなげる独自の取り組みを進めています。2015年11月に、製造現場で働く従業員を対象にした研修が行われ、グローバル憲章のキーワードを日常事例に置き換える話し合いを行い、1人ひとりが3つの行動を約束する「行動カード」を作成しました。

このような活動事例は、イントラネットを活用し、日英中の3言語でグローバルに発信され、ブラザーグループ内で共有しています。

ブラザーグループは、こうした多様な浸透活動を通じ、ビジョン実現に向けて変革の起きやすい組織風土の醸成に取り組んでいます。それは、グループとして成長し、社会にとって価値を産み出し続けるために、あらゆる変革を恐れず、チャレンジ精神を持って行動することが必要だからです。そして、グローバル憲章に示された、"At your side." を意識した従業員すべての行動は、グループの成長だけでなく、社会からの要請に応える活動や継続的な社会貢献活動に強く結びつきます。

ブラザーグループは、これからもステークホルダーの皆さまからの信頼を積み重ね、従業員にとって「誇り」の持てる企業の実現につながるよう、グループ全従業員で価値観を共有する活動を継続し、進化させていきます。



話し合いをする製造現場の従業員